

編修趣意書 (教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-115	高等学校	公民	公共	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
06教図	公共702	公共		

1 編修の趣旨及び留意点

学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指した。社会課題に対する見方、考え方はさまざまあり多面的であることを重視し、その複数性の中で生徒が自分で考え合意形成を目指す、公共的存在としての能力を養うこととくに重点を置いている。

これを達成するために、さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定し、主体的、対話的な授業ができるよう編修している。

2 編修の基本方針

幅広い知識と教養を身につけるため、法、政治、経済、情報など各分野の基礎的項目を盛り込み、必要な知識を学習できるよう編集した。(1号) また関連する最新の現代社会における諸課題を「テーマ学習」として設け、生徒の自主、自立的な探求心を高めるための工夫をした。(2号)

正義、公共の精神を養うため「ディスカッション」と題した問いをテーマごとに立て、主体的・対話的な議論を授業の中で行えるよう配慮した。さらに第3章では実際に公共的な取り組みを行っている高校を実例として取り上げた。(3号)

環境保護の観点から地球温暖化、公害問題を大きく取り上げた。(4号)

自国の伝統と文化を尊重する態度を養うため、日本の公共精神を培ってきた先人の思想を紹介し、また他国との共生、平和の尊さについて詳しく記述した。(5号)

3 対照表

図書の校正・内容	とくに意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 公共の扉	「人と人がなぜ社会を作り公共的存在であるのか」という問いから、青年期の孤独やいじめ、差別などの問題を取り上げ、豊かな情操と道徳心を培うことができるようした。(1号)	p.006~009
1節 公共と人		
1項 人は一人では生きられない		
2項 人はどのようにつながるのか		
3項 自由と正義の実現を目指して		
4項 対話から生まれる公共		

5項 日本の公共思想	正義と責任の観点から、先哲の思想家の思索を紹介し現代につながるさまざまな公共思想を概観できるよう配慮した。(3号)	p.010～011
	対話の重要性について取り上げ、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うよう工夫した。(3号)	p.012～013
	日本と西洋の公共概念の相違、日本固有の公共性の歴史的経緯、日本の代表的思想家の概略などを通じ、我が国の伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養うことを目指した。(5号)	p.014～015
	主体的に社会の形成に参画する高校生の実例として、地域住民と高校生が、対話を通じて問題解決に取り組んだ事例を詳細に記述した。(3号)	p.018～019
第1章 2節 公共と倫理 1項 功利主義と義務論 2項 水俣病を考える 3項 地球温暖化問題 4項 誰が医療を支えるのか	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養う観点から、倫理学におけるトロッコ問題を取り上げ、義務論と功利主義の二つの立場を分かりやすく記述した。(1号)	p.020～021
	生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うため、水俣病、地球温暖化問題、医療問題を取り上げ、データや年表、写真、イラストなどで問題の核心を分かりやすく記述した。(4号)	p.022～029
第1章 3節 公共の基本原則 1項 生徒会予算をどう分配するか 2項 意見が分かれたときどう決めるか 3項 民主政治の歴史 4項 憲法の基本原則 5項 男女平等について考える 6項 表現の自由とヘイトスピーチ	正義と責任、自他の敬愛と協力、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画するという観点から、生徒会の予算をどう分配するかという思考実験を設け、身近なテーマから公正、公共について考えられるよう工夫した。(3号)	p.030～033
	幅広い知識と教養を身につけるという観点から、民主政治の歴史や社会契約説について記述した。(1号)	p.034～035
	正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力を重んじる公共の精神を育むため、日本国憲法の原理に基づき、立憲主義、平等、自由、義務などについて記述した。(3号)	p.036～039
	男女の平等の観点から、医科大学入試における差別、日本における女性医師の少なさなど具体的な社会問題を取り上げ、アフターマティブアクションの意義について考えさせるよう工夫した。(3号)	p.040～043

<p>第2章 現代社会の諸課題</p> <p>1節 法</p> <p>1項 法と社会</p> <p>2項 契約と消費</p> <p>3項 司法と裁判</p>	<p>幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うため、法についての基礎的な知識を記述した。(1号)</p>	<p>p.046～047</p>
	<p>男女平等の観点から、憲法やさまざまな法律によって、それがどのように実現されてきたか詳細に記述した。(3号)</p>	<p>p.050～051</p>
	<p>自主及び自立の精神を養い、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うため、社会生活におけるさまざまな契約と消費をイラストで分かりやすく解説した。(2号)</p>	<p>p.052～059</p>
	<p>豊かな情操と道徳心を培うという観点から、司法制度の仕組み、司法参加の意義について記述した。(1号)</p>	<p>p.060～067</p>
	<p>正義と責任について、4コマ漫画やイラストを用いて表現し、自ら問題に対し思考するよう工夫した。(3号)</p>	<p>p.068～071</p>
<p>2章</p> <p>2節 政治</p> <p>1項 政治参加</p> <p>2項 国政と地方自治</p> <p>3項 国家主権と領土問題</p> <p>4項 安全保障</p> <p>5項 国際社会と日本</p>	<p>主体的に社会の形成に参画するという観点から、選挙制度や世論、政党政治など政治参加について記述した。(3号)</p>	<p>p.072～075</p>
	<p>高校生の請願の実例を取り上げ、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを具体的に示した。(3号)</p>	<p>p.076～077</p>
	<p>国政と地方自治の仕組みについて取り上げ、とくに住民投票、国民投票に関し詳述することで、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮した。(5号)</p>	<p>p.078～083</p>
	<p>我が国と郷土を愛する態度を養うという観点から日本の領土について写真などで詳しく解説した。(5号)</p>	<p>p.084～085</p>
	<p>他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことという観点から、クルド人問題や国際法について取り上げ、理解を深められるよう工夫した。(5号)</p>	<p>p.086～088</p>
	<p>4コマ漫画とイラストで、自他の敬愛と協力を重んじるとともに、公共精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(3号)</p>	<p>p.090～093</p>

	我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことという観点から、安全保障と憲法9条について詳述した。(5号)	p.094～095 p.098～099
	他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から、日本の国際貢献や、SDGsを取り上げ、その実現のためのさまざまな取り組みを紹介した。(5号)	p.104～107
	4コマ漫画とイラストで、身近なテーマを設定し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう工夫した。(5号)	p.108～111
2章		
3節 経済		
1項 職業選択	AIによる仕事の変化や、働く場所などに注目し詳述することで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うことができるよう工夫した。(2号)	p.114～117
2項 労働問題		
3項 財政と税		
4項 社会保障		
5項 市場経済		
6項 金融		
7項 国際経済		
	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うという観点から、現代の労働問題について取り上げた。とくに日本型雇用の最近の変化について詳述し、働き方について理解が深められるよう配慮した。(2号)	p.118～123
	勤労を重んじる態度を養うことという観点から、4コマ漫画とイラストで賃金と労働、またお金の価値について考えを深めさせるためのページを設けた。(2号)	p.124～127
	正義と責任、自他の敬愛と協力を重んじるという観点から、格差是正と税の問題を取り上げ、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう配慮した。(3号)	p.134～135
	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うという観点から、学校給食制度に注目し、貧困対策について理解が深めることができるよう工夫した。(1号)	p.138～139
	コンサートチケットの販売方法や、民泊の課題など最近の事例を取り上げ、市場経済の利点と課題を問い、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(3号)	p.146～149

	投資について取り上げるなかで、投資金が企業活動を通じ社会の形成に役立っている事例を紹介し、正義と責任、公共の精神を養うことができるよう工夫した。(3号)	p.154~157
	豊かな情操と道徳心を培うという観点から、寄付やボランティアについて、4コマ漫画やイラストなどを用いた。(1号)	p.160~161
	他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養い、またそのために豊かな情操と道徳心を培うという観点から、フェアトレードについて記述した。(1号, 5号)	p.166~167
2章 ゼミナール 情報	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うという観点から、インターネットやソーシャルメディアとの関わり方について記述した。(1号)	p.170~171
	インターネットにおける公共性というテーマを取り上げ、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(3号)	p.172~173
第3章 持続可能な社会へ	社会課題を設定し、調査、レポート、発表に至る過程を具体的に解説することで、幅広い知識を身につけ、真理を求める態度を養うことができるよう配慮した。(1号)	p.176~179
	復興やバリアフリー、地域社会との共生、訪日外国人のサポートなど社会的活動を実施している高校や特別支援学校の活動を複数取り上げ、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を養ったり、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう工夫した。(1号, 3号)	p.180~187

4 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第1条（教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない）の理念に即し、社会における最新の話題、課題を豊富に取り上げ、それらについて生徒が主体的に思考し、また対話や議論を行えるようとくに配慮した。

編修趣意書 (学習指導要領との対照表, 配当授業時間表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-115	高等学校	公民	公共	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
06教図	公共702	公共		

1 編修の趣旨及び留意点

「公共」が公民科の新科目であり、1年次での履修が多いことから、さまざまな社会の事象や基礎的概念を意欲的に学習できるよう以下の点に留意した。

- ・本文、注ともに重要語句を強調し、そのすべてにルビを振った。
- ・漫画やイラストなどを適宜入れ、学習意欲を高められるよう工夫した。
- ・各テーマの末尾に「DISCUSSION」という議論のための問いを立て、主体的、対話的な深い学びができるよう配慮した。
- ・第1章は「人間と社会の在り方についての見方・考え方」が複数あり、幸福、正義、公正を実現するために広い視野から多角的に課題を捉えること、さらに対話を通して合意を形成していくことの重要性をとくに留意した。
- ・第2章では、基礎的な知識を扱うパートと、それに関連した具体的な社会課題を扱う「テーマ学習」に分け、とりわけ「テーマ学習」では時事的な事例、生徒の実生活に関連する話題を多く盛り込んだ。
- ・男女平等について、複数のテーマで取り扱い、内容を充実させた。
- ・グローバル化する国際社会への形成者に必要な資質を育成するため、SDGsを重視し、複数のテーマで取り扱い、深く理解できよう構成した。
- ・第3章では持続可能な社会づくりの主体として、社会活動を実践している高校生の取り組みをさまざまに取り上げ、学習の成果を具体的な活動に結びつける実例として掲載した。

2 対照表

図書の校正・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
第1章 公共の扉 1節 公共と人 1項 人は一人では生きられない 2項 人はどのようにつながるのか 3項 自由と正義の実現を目指して 4項 対話から生まれる公共 5項 日本の公共思想	内容 A (1)	p.006~019	6

第1章 2節 公共と倫理 1項 功利主義と義務論 2項 水俣病を考える 3項 地球温暖化問題 4項 誰が医療を支えるのか	内容 A (2)	p.020~029	4
第1章 3節 公共の基本原則 1項 生徒会予算をどう分配するか 2項 意見が分かれたときどう決めるか 3項 民主政治の歴史 4項 憲法の基本原則 5項 男女平等について考える 6項 表現の自由とヘイトスピーチ	内容 A (3)	p.030~044	7
第2章 現代社会の諸課題 1節 法 1項 法と社会 2項 契約と消費 3項 司法と裁判	内容 Bア (ア), Bイ	p.046~071	9
2章 2節 政治 1項 政治参加 2項 国政と地方自治 3項 国家主権と領土問題 4項 安全保障 5項 国際社会と日本	内容 Bア (イ), Bイ	p.072~111	16
2章 3節 経済 1項 職業選択 2項 労働問題 3項 財政と税 4項 社会保障 5項 市場経済 6項 金融 7項 国際経済	内容 Bア (ウ), Bイ	p.112~169	23
2章 ゼミナール 情報	内容 Bア (エ)	p.170~174	2
第3章 持続可能な社会へ	内容 Cア	p.176~179	3
		計	70